

# MBS『ESG投資特別セミナー』

(「企業活動と不動産基礎セミナー」、「ファイナンスセミナー」共催)

2018年10月2日(火) 18:30 ~ 20:00

明治大学駿河台キャンパス アカデミーコモン 309B 教室 (9F)

■講師：年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF)

市場運用部次長、スチュワードシップ推進課長 小森 博司様

■演題：「GPIFのインベストメントチェーンとESGの取組みについて」

(概要:小森様より) GPIF が国民の皆様からお預かりして運用する約 160 兆円の年金積立金は、将来の年金給付の貴重な財源となります。GPIF の投資家としての特徴は、①国内外の様々な企業や発行体に幅広く投資する「ユニバーサル・オーナー」であり、②100 年を視野に入れた年金財政の一部を担う「超長期投資家」であることです。つまり GPIF にとっては、資本市場全体の持続的かつ安定的な成長が不可欠です。そのためには、投資先企業の企業統治の改善に加え、環境・社会問題など負の影響を減らすこと、つまり ESG の考慮が重要だと考えています。講演では GPIF の ESG 投資の取組みと、その背景や目的についてお話しします。

■ (ご参考)

ESG とは、持続可能な社会の形成に寄与するために配慮すべき 3 つの要素とされる環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったもので、企業活動において中長期的な成長のためには必須の観点です。ESG 普及の大きなきっかけになったのは、2006 年に国際連合が国連責任投資原則 (PRI) を発表したことでした。この原則を署名している機関は 2018.6 現在、全世界で 2006 社となり、日本でも、GPIF 他、計 62 社が署名しています。GPIF は昨年 2017 年 10 月、投資原則を改め、株式にとどまらず、債券など全ての資産で ESG の要素を入れるようになりました。不動産投資に関しては、商業施設、賃貸住宅、物流施設等の実物不動産に投資を行っている不動産ファンドを投資対象としています (投資一任形式-ファンド・オブ・ファンド形式)。

■懇親会：終了後大学の近くで懇親会を行います (会費制 4000 円程度)。

[セミナーの申込み](#) ←クリック (今回のセミナーは、メディア非公開です)

入場無料

●お問い合わせ先:

明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科特任教授 村木信爾

E-mail [murakiss@meiji.ac.jp](mailto:murakiss@meiji.ac.jp)

